



▲漁網に海藻の種苗を挟み込む水産高校の生徒

津屋崎で海藻の種まき ブルーカーボンを創出

海藻に吸収・固定される二酸化炭素は「ブルーカーボン」と呼ばれ、県では、ブルーカーボンの創出を推進するために海藻の種まきなどを行っています。減少した藻場を回復する手法の一つとして、海藻の種まきがありますが、宗像漁業協同組合津屋崎支所・九州大学・トヨタ自動車九州株式会社・県立水産高校・福津市・県が連携し、1月20日に津屋崎漁港で海藻の種まきの準備が行われました。県立水産高校の生徒が漁網に海藻の種苗を挟み込み、漁業者が海に設置しました。今回設置した海藻は4月には数メートルに成長し、それが種まきに活用されます。



▲木のピンに向かってモルックを投げる参加者

市商工会主催の婚活イベント 福津モルックで恋の一投

市商工会青年部は、結婚を希望する独身男女が出会うきっかけづくりを応援するため「福津モルックで恋の一投」と題した婚活イベントを2月16日に市商工会館で開催しました。チームで作戦を立てて進めていくモルックを通じて、初対面の男女が楽しく自然に交流できるのではないかと企画され、10組中5組のマッチングが成立しました。イベント実行委員長の木村誠也さんは「結婚したいとか、恋人がほしくても出会いがない人たちに、どう機会を提供するのかを考えた。今後もこのようなイベントを企画していきたい」と話していました。



発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集。掲載を希望する人はプリントした写真を市子育て支援センター「なかよし」に持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限り、データの持ち込みは受け付けられません。毎月先着24人で、6月生まれの赤ちゃんは4月18日(金)が受付期限です。受付、問い合わせ 市子育て支援センター「なかよし」(ふくとぴあ) ☎0940・35・8382 休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日 ▶写真申込フォーム



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る文部科学大臣表彰受賞 津屋崎中学校区地域学校協働活動における「未来を担う子供を育てる防災教育の推進」

津屋崎中学校区の津屋崎小学校、勝浦小学校、津屋崎中学校では、小・中学校9年間を見通し「社会とつながり主体的に課題解決に取り組む子ども」の育成を目指して教育活動を行っています。また、主体的に地域の防災や安全を担う人材の育成が津屋崎中学校区の共通課題となっています。その課題解決のため、津屋崎中学校区合同学校運営協議会と3つの地域郷づくり推進協議会(宮司・津屋崎・勝浦)を中心とした合同地域学校協働本部会(以下、「本部会」)を創設しました。平成23年から協議を重ね「地域の学びを防災学習でつなぐ」をテーマに実践を行ってきました。津屋崎中学校区統括地域コーディネーターの西田明日香さんが中心となって、各学校の地域コーディネーターと連携・共働しながら学校と地域をつなぎ、本部会の企画・運営を行うことで地域合同避難訓練に取り組んできました。このような防災教育の取り組みから、地域コーディ

ネーターの活躍と、学校と地域が一体となった地域学校協働活動が評価され「令和6年度コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に係る文部科学大臣表彰」を受賞しました。特に令和4年度から、津屋崎中学校の生徒たちが防災活動の企画・運営会議に地域の一員として加わり、協議を行ってきました。地域コーディネーターがつなぎ役となって、地域住民、保護者、教職員と中学生が対話を重ね、企画する協議の場を設けることで、子どもたちと地域の絆を紡いできたのです。このように、子どもたちの主体的な活動を支え、持続可能な社会の創り手を育てるために地域コーディネーターが学校と地域をつないできました。そして、本部会を拠点として、学校、家庭、地域や防災関係者のネットワークが広がり、大人たちの熱い想いと子どもたちの活躍が津屋崎中学校区全体の防災意識を高め続けています。



▲津屋崎中学校の生徒も参加した防災活動の企画・運営会議



▲表彰状を掲げる勝浦小学校原尻校長(左)と西田さん(右)

田畑三男さんが「防犯栄誉金賞」を受賞 宗像地区で史上2人目の快挙

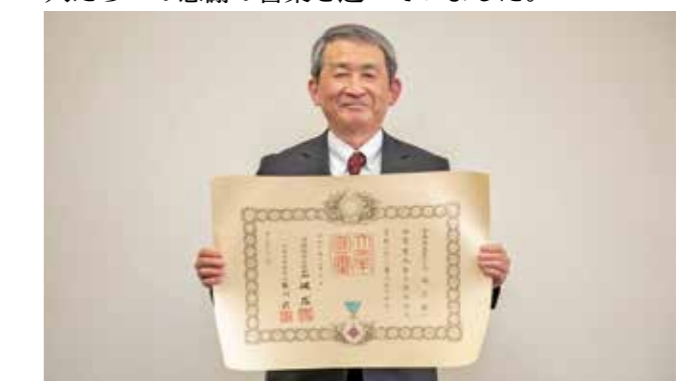
28年もの間、防犯指導員などとして防犯指導や防犯意識の高揚に努めた田畑三男さんが、宗像地区で史上2人目の防犯功労者表彰「防犯栄誉金賞」を受賞しました。2月5日に宗像警察署で伝達式が行われ、田畑さんは喜びをかみしめていました。



▲表彰状を掲げる田畑さん

大嶋正紹さんが瑞宝双光章を受章 学校教育振興に多大なる貢献

小学校教諭・教頭・校長、退職後も教育長などを務めて学校教育の振興に長年にわたり貢献した大嶋正紹さんが瑞宝双光章を受章しました。1月29日に市役所で伝達式が行われ、大嶋さんはこれまで支えてくれた人々への感謝の言葉を述べていました。



▲笑顔で表彰状を掲げる大嶋さん